griculture~農業~

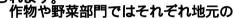
H. 19.7.19発行

発行責任者

農場長 星 久一郎

# 農場長より

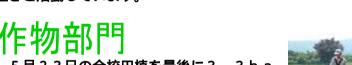
耶麻農業高校の農場は,学級数の規 模から比較すると県内の農業高校で一 番の農場面積と農場生産の規模を有す る学校です。農場の生産計画も順調に 進んでおり,課題研究や総合実習科目 では研究活動が継続している様子が見 られます。



小学校へ出向いて、「生徒が先生」として作物栽培を教えています。

畜産部門では,農業グラブの家畜審査競技大会で最優秀賞を受賞しました。また,学校生産の子 牛を福島県家畜市場へ出荷した様子がテレビ報道もされました。

草花部門では喜多方市内を中心に販売実習を行っております。このように各部門とも生徒が生き 生きと活動しています。



5月23日の全校田植を最後に3.3ha の田植えも終了できました。この時の様子は 地元の新聞を通じてお知らせできた事と思っ ています。明るく和やかな雰囲気の中,手植 えでの田植えを終え田んぼの周りでお弁当を 頬張る姿は,満足げで環境保全や食糧生産に 係わったという充実した様子でした。





本校では水稲の他にソバの栽培も行っていますが,秋ソバの種まきまでの有休圃場を利用したい との申し出が県総合農業センター会津地域研究所からあり、現在「会津のかおり」という新品種の 採種用として栽培されていました。

さる,5月14日に雌の仔牛が生まれました。ちょうど2-1の総合 実習の時間で,日頃うるさい生徒達もこの時ばかりは静かになり,生ま れて来るのを固唾を飲んで待っていました。生命の誕生に立ち会うこと ができ、本校ならではの貴重な体験ができた事と思います。

また、7月9日には仔牛のセリに2年生の専攻生を連れて行きセリに 参加してきました。昨年の9月に生まれ生後10ヶ月の雄の子牛をひく

のは大変でしたが、高値で売ることができました。 次にプロジェクト学習ですが、2・3年生ともテーマに沿って調査・ 研究を行っています。現在は主に,調査対象牛の体重測定を2週間ごと に行っています。





今年度は,ナス・キュウリ・ピーマン・シ シトウ・オクラ・トウモロコシ・トマト・ ス イカ・メロン・カボチャ等を作付しました。 現在は、キュウリ・ナス・オクラが少しで はありますが収穫しています。これから夏休

み中に販売しますので,保護者の皆様でご希望の方は生徒を通じてご連絡下さるか,または,ご来校下さい。 プロジェクト学習では,3年生は,昨年に続き「海洋深層水・ケイ酸・木酢液散布が生育に及ぼ す影響について」をテーマに調査・研究に取り組んでいます。2年生は、「作物の基本的栽培技術及 び優品率を向上させるための栽培方法」について調査しています。おいしい野菜が作れると思いま すが、どうなるでしょうか楽しみです。





花壇用の苗では,喜多方市内の小・中学校さんに大変お世話になりました。約5,000ポッ トの生産となりました。

今年度,初めて栽培に取り組んだ「球根ベゴ ニア」。原産地は、アンデス山脈というように栽 培は難しいとされてきましたが............ 色鮮や かに咲きました。

今年も咲きました「グロキシニア」。原産地は、ブラジルで「温室の女王」と呼ばれる花です。





1鉢300円で好評販売中!!

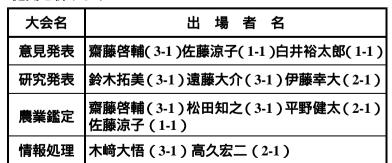
例年ボランティア活動として行ってい る、通学路の清掃活動を今年も毎月1回 行っています。たくさんのゴミを拾い環

境美化に貢献しました。

次に、さる6月14~15日に行われた、家畜審査競技の県大会へ 7名が出場しました。その中で,乳用牛の部に出場した3-1の鈴木 拓美君が見事最優秀賞に輝きました。本校にとっても平成6年以来の 快挙です。また,同じく乳用牛の部に出場した2-1の関本拓麻君も 優秀賞に輝きました。

また,7月24~25日に行われる意見研究発表県大会,7月26 ~27日に行われる農業鑑定競技と情報処理競技の県大会に出場する 生徒が以下の通り選出されました。家畜審査競技大会の勢いを他の大 会でも発揮してもらいたいです。

健闘を祈ります!!



このほか,7月25日~27日に行われる東北連の夏期研修 会(山形県)には,2-1生亀英人君が参加し,また,8月8 日~9日に行われる県連の夏期研修会(相馬海浜自然の家)に は、3-1齋藤啓輔君と2-1平野健太君の2名が参加します。





